

川人、順次其の數相亞ぎ、別に口外(口外とは萬里長城外の地、即ち蒙古新疆等の地方を云ふ)の纏頭回(人種の部に詳なり)十餘家あるを見る。外國人の住居する者絶て無きも、佛蘭獨露の商人及宣教師等時々往來する者あり。官衙には兵備道、直隸州、鎮臺、遊擊等の諸衙門ありて、軍隊は綠營四營(五百數)、練軍步隊一營(三百名)、馬隊一旗(一百名)、城守兵八十餘名、外に在、金塔に一協(百名)を置き、巡警局は目下設備中なり、學校は其地に似ず一の存在を認めず、聞く富家には書房の設け有りと雖も、復た讀書の人あらずと。以て文教の不振を知るに足る。

土民の耐
寒力

宗教は回教徒七十餘家、悉く東門に據りて團居し、耶蘇及天主教徒は數十名、佛教は僧侶三十餘名の多きに反し、頗る不振の境に在りと。氣候は寒冷而も雨雪少く、毎年概ね三四回を降すのみと。人民は一般に耐寒力強く、單に綿衣を以て嚴冬を凌げり。地味は稍々肥沃、一畝地五六斗の糧を産す、産物は南山の玉石、石炭(年額約五十萬斤を採掘す)、木材(松揚柳の類)、木炭(主に北山より出す)、米、麥等輸入品は獨國の反物類、佛國の染料、我國の「マツチ」金巾、諸雜貨を主とす。稅務は釐金局一日平均銀拾五兩ありといふ、鴉片は其額一百兩に付き二兩六、油酒は一百斤に付き百文を徵すと。